

地震を知る

震度とは、地震の強さの程度を示すものです。地震の揺れにより、どのような現象の被害が発生するか一般的に例示しています。

気象庁震度階級関連解説表より一部抜粋

震度4

かなりの恐怖感があり、一部の人は、身の安全を図ろうとする。

屋内の状況: つり下げ物は大きく揺れ、棚にある食器類は音を立てる。座りの悪い置物が、倒れることがある。

屋外の状況: 電線が大きく揺れる。歩いている人も揺れを感じる。自動車を運転していて、揺れに気付く人がいる。



震度6弱

立っていることが困難になる。

屋内の状況: 固定していない重い家具の多くが移動、転倒する。開かなくなるドアが多い。

屋外の状況: かなりの建物で、壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。

木造建物: 耐震性の低い住宅では、倒壊するものがある。耐震性の高い住宅でも、壁や柱が破損するものがある。



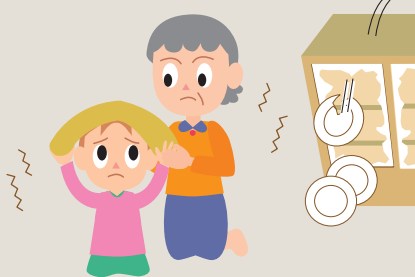
震度5弱

多くの人が、身の安全を図ろうとする。一部の人は、行動に支障を感じる。

屋内の状況: 座りの悪い置物の多くが倒れ、家具が移動することがある。

屋外の状況: 窓ガラスが割れて落ちることがある。電柱が揺れるのがわかる。補強されていないブロック塀が崩れることがある。

木造建物: 耐震性の低い住宅では、壁や柱が破損するものがある。



震度6強

立っていることができず、はわないと動くことができない。

屋内の状況: 固定していない重い家具のほとんどが移動、転倒する。戸が外れて飛ぶことがある。

屋外の状況: 多くの建物で、壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。補強されていないブロック塀のほとんどが崩れる。

木造建物: 耐震性の低い住宅では、倒壊するものが多い。耐震性の高い住宅でも、壁や柱がかなり破損するものがある。



震度5強

非常な恐怖を感じる。多くの人が、行動に支障を感じる。

屋内の状況: 棚にある食器類、書棚の本の多くが落ちる。タンスなど重い家具が倒れることがある。

屋外の状況: 補強されていないブロック塀の多くが崩れる。多くの墓石が倒れる。

木造建物: 耐震性の低い住宅では、壁や柱がかなり破損したり、傾くものがある。



震度7

揺れにほんろうされ、自分の意志で行動できない。

屋内の状況: ほとんどの家具が大きく移動し、飛ぶものもある。

屋外の状況: ほとんどの建物で、壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。補強されているブロック塀も破損するものがある。

木造建物: 耐震性の高い住宅でも、傾いたり、大きく破壊するものがある。

